

みさと 福祉だより

第25号

平成23年
2月15日

編集発行

社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会
☎0187-85-2294 ☎0187-85-2291
印刷・株式会社アイ・クリエイト



一斉除排雪事業

美郷町社会福祉協議会では、毎年町内の单身老人や高齢者世帯等を対象に一斉除排雪事業を行っています。今年は年明けからの大雪ということもあり対象世帯が例年よりも多く、学校の生徒さんやボランティアの皆さんから多数のご協力をいただきました。

また、訪問先の方からもたくさんの喜びの声をいただきました。(詳しくは2面)

※「この広報は赤い羽根共同募金の配分金と社協会費が使われています。」

一斉除排雪事業

今年も158世帯を除雪

1月16日、一斉除排雪事業の第1回目(千畑地区)が行われ、この日は千畑中学校の生徒さんをはじめ、多数のボランティアが集まり、総勢137名の方々からご協力をいただきました。

2回目は1月25日に仙南地区の除雪を行いました。仙南中学校の生徒さんと下は12歳、最年長は93歳という方もボランティアとして参加してくださいました。たくさんのご協力ありがとうございました。



出発の様子

この事業は毎年1月〜2月にかけて単身老人世帯や高齢者世帯、障害者世帯など、自力での除雪作業が困難な世帯を対象として、各地区2回ずつ行っています。

地区の中学校と六郷高校の生徒さん、老人クラブ連合会、消防団、民生児童委員、建設業協会、施設職員、役場職員、地元企業、一般ボランティアなど、毎年たくさんの方々からご協力をいただいています。

訪問先の声

千畑地区 黒沢
戸堀スジエさん(91)

今のところ、できる範囲の除雪は自分でやっていますが、自分も若いころのようには動けなくなってきたこともあり、毎年除雪ボランティアが来てくれるのは本当に助かっています。



それに、除雪に来てくれる中学生とのふれあいも楽しみにしています。

特に今年は大雪だったので、たくさんのおかげが来てくれました。おかげで軒下の雪がなくなり、春まで安心して過ごせそうです。

自分は何十年も一人暮らしをしていますが、冬の除雪に限らず隣近所や友人など、いろいろな人の助けを借りながら暮らしています。

「自分はいろいろな人に支えられて生きている」と思うと本当にありがたいことです。

ます。

昨年は延べ954人からご協力をいただき、延べ115世帯の除雪を行いました。

今年も延べ158世帯(仙南地区68世帯、六郷地区36世帯、千畑地区54世帯)の除雪を行う予定です。



年明けから降り続いた雪は『平成18年豪雪』に近いくらいの大雪になり、特に一人で暮らす高齢者の方は不安を抱えながら過ごしていることも多いのではないのでしょうか。

誰もが安心して暮らしていける地域づくりに向けて、これからもご理解、ご協力をお願いします。

社協会員会費 お礼と報告

7月に各地区の福祉委員を通じて集めていただきました社協会費について、第22号で中間報告をしましたが、実績が確定しましたので再度報告します。

- 一般会員会費：5,763,000円
- 特別会員会費：383,000円
- 団体・法人会員会費：122,000円

合計：6,268,000円

※ 団体・法人会員会費は随時ご協力いただいています。

会費をいただいた 団体・法人様

※敬称略 五十音順

- ・はりま建設(株)
- ・奉友会
- ・北都銀行
- ・美郷町遺族会
- ・美郷町くるみの会
- ・美郷町身体障害者協会
- ・美郷町青少年育成町民会議
- ・美郷町千畑土地改良区
- ・美郷町手をつなぐ育成会
- ・美郷町望の会
- ・美郷町ボランティア連絡協議会
- ・美郷町民生児童委員協議会
- ・美郷町老人クラブ連合会
- ・湧太郎

皆さまからいただいた会費は、福祉だよりの発行や一斉除排雪事業など、美郷町社協の様々な事業に有効活用させていただいています。ご協力ありがとうございました。

福祉委員の役割

社会福祉協議会事業の円滑な運営と住民による福祉活動の推進を図るため、社会福祉協議会長が委嘱し、次の役割をお願いしています。

1. 社会福祉協議会の行う事業推進のために協力(福祉大会、座談会など)をするとともに連絡事項を地域住民へ知らせる。(広報やチラシの配布)
2. 会員の増強に努める。(会員会費の徴収)
3. 地域福祉活動推進のための中核的な役割を担う。(地域社協活動の推進など)
4. 地域内の要援護者を把握し、民生委員や関係機関、団体と連絡をとりながらその支援に努める。
5. 共同募金運動の推進。(赤い羽根募金、歳末たすけあい運動)

美郷町では138の方が福祉委員として活動しています。

グループホーム
やすらぎの家

設備施設
AED

認知症なんでも相談所

ライフケア 介護付有料老人ホーム
そよかせ

TEL.0187-84-1750

美郷町畑屋字狐塚213-1

(有)若竹 TEL.0187-84-2387

介護(認知症等)による
にお困りの方、お気軽にご連絡ください。

みさと福祉だよりへ 広告を掲載してみませんか？

発行回数：年6回(偶数月)毎号6,800部

掲載料金：1コマ(50mm×85mm)7,000円

※詳細は美郷町社会福祉協議会 広報担当までお問い合わせください。

TEL 0187(85)2294

～在宅介護支援センターから～

介護全般にかかわる相談を受け付けています。なお、福祉センターが休館（土・日・祝祭日）でも電話にて対応しています。

TEL 85-2294

例えばこのようなとき・・・

●訪問介護サービスを利用したいが、利用方法が分からない。

●家族を介護することになったが、介護の仕方について学びたい。

・・・など、個別に対応します。

この他、年間を通じて介護教室などの事業を展開しています。

日常生活の「ちょっとした困りごと」に

おたすけマン事業

高齢者、病気やケガで手助けが必要な方などを対象に、依頼に応じておたすけマンがお手伝いをします。

お手伝いの内容は、買い物や薬もらい、届け物、公共機関への手続きなどで、新たに会話（話し相手）が加わり9種類になりました。また、薬もらいについては、2月中旬から旧横手市の病院や診療所も対応できるようになります。

利用料は1回30分程度で300円を目安として、活動の実費（ガソリン代等）に充当させていただきます。

利用申込みはみさと福祉センターまで

TEL 85-2294

心配ごとは 早めに 気軽に まず相談

ふれあい相談所のご案内

相談日 毎週水曜日（祝祭日は休み）

相談時間 午前10時～午後3時

相談場所 千畑地区：みさと福祉センター
（旧千畑福祉センター）

六郷地区：中央ふれあい館

（旧六郷老人福祉センター「清水苑」）

仙南地区：美郷町公民館

（旧仙南公民館）

☆相談員が親身になって対応します。

☆関係機関への橋渡しや助言をします。

☆電話での相談や匿名での相談もできます。

☆相談内容の秘密は守られます。

☆費用は一切かかりません。

☆法律相談の場合は必要に応じて

顧問弁護士を紹介します。



※相談場所につきましては、相談員が各地区を持ち回りで常駐していますので、詳しくは美郷社協までお問い合わせください。 TEL 85-2294

社協への届けものは役場出張所の連絡箱をご利用ください

昨年4月から社協の事務所がみさと福祉センター（旧千畑福祉センター）へ統合になり、六郷と仙南の福祉センターは廃止になりました。それにより、社協への届けもの（申請書や届出等の書類）は原則としてみさと福祉センターへ届けていただくこととなりますが、学友館、公民館内の役場出張所の連絡箱も利用することができます。

連絡箱の利用方法は、窓口で「これを社協に届けたい」と申し出ていただくだけで結構です。

ただし、会費の納入、募金、寄付、利用料の支払いなどのお金や貴重品は連絡箱では取り扱えませんのでご了承ください。

美郷町介護事業所からのお知らせ

美郷町社会福祉協議会では、在宅で生活している高齢者や寝たきり、認知症、障がいを抱えている方々のお世話をしている介護者やご家族の悩み、疑問に対して相談やサービスを提供するため、美郷町介護事業所を運営しています。

【居宅介護支援事業】



○ケアマネージャー (介護支援専門員)

が次の業務を行います。

- ・要介護認定申請の代行
- ・ケアプランの作成
- ・介護保険施設の紹介
- ・介護サービス事業者との連絡・調整
- ・その他、介護に関する相談受付

【訪問入浴介護事業】



○寝たきりなどで自宅のお風呂に入ることが困難な方に対し、入浴専門の看護師・介護員が自宅を訪問し、移動入浴車による入浴介護を行います。

気持ちの良いお風呂で心身ともにリフレッシュしていただきます。

【訪問介護事業】



- ホームヘルパーが自宅を訪問し、身体介護や家事のお手伝いをします。住み慣れた自宅で安心して生活できるよう適切なサービスを提供します。

【通所介護事業】



- みさと福祉センター内で、食事・入浴等のサービスを提供し、楽しく一日を過ごしていただきます。自宅まで送迎もします。



- ・介護保険制度を利用してサービスを受けたい
- ・介護の仕方が分からない
- ・家族の負担を少なくしたい
- ・介護機器の使い方が分からない・・・等々

※美郷町社会福祉協議会個人情報保護に関する方針に基づき、事業所は個人情報の保護に努めます。

介護のことならお気軽にご相談ください!

美郷町介護事業所

(みさと福祉センター内)

TEL 0187(87)6128(代)

FAX 0187(87)6680

社協事業の紹介

美郷町社会福祉協議会では『誰もが安心して暮らせる地域づくり』を目指すため、今年度は以下の56の事業を行いました。

※赤文字の事業は、昨年度に町民の皆さまからいただいた共同募金の配分金が使われています。

【気軽に参加ふれあい支援】

- ・ 生きがい活動支援通所事業
- ・ 配食サービス事業
- ・ お元氣ハガキ事業
- ・ 地域住民グループ支援事業
- ・ 介護者交流事業
- ・ 単身老人日帰り旅行
- ・ 福祉センター管理運営事業

【安心・安全体制の確立】

- ・ 罹災世帯等法外援護事業
- ・ 総合相談事業
- ・ 移送サービス
- ・ 日常生活自立支援事業
- ・ 単身老人防火点検

・出張容補助券の交付

- ・ 在宅介護支援センター事業
- ・ 介護用品支給事業
- ・ 介護保険・認定調査
- ・ 居宅介護支援事業ケアプラン
- ・ 訪問介護事業
- ・ 訪問入浴介護事業
- ・ 生活支援ホームヘルプサービス事業
- ・ 障害者自立支援事業
- ・ 通所介護事業
- ・ 介護予防通所介護事業

【広がる活動支えあい】

- ・ 一斉除排雪活動事業
- ・ ボランティアセンター運営事業
- ・ 福祉あんしん電話事業
- ・ 傾聴ボランティア育成事業

【高める関心福祉活動】

- ・ 災害時の住民のための車両整備事業（広域配分）
- ・ 福祉だよりの発行
- ・ 事務局だよりの発行

- ・ JRC活動総合学習への協力（福祉活動助成金・福祉教育連絡協議会）

・地域福祉座談会

- ・ 社会福祉大会
- ・ 団体への助成

【みんながつなぐたすけあい】

- ・ 要援護者実態調査
- ・ ネットワーク活動の推進
- ・ 歳末援護
- ・ たすけあい資金貸付事業
- ・ 生活福祉資金貸付事業
- ・ 高齢者実態把握事業
- ・ ケア会議
- ・ 歳末たすけあい運動・チャリティイーバザーへの協力



【組織財政基盤の整備】

- ・ 理事会・評議員会
- ・ 忌明け・快気祝いハガキの印刷
- ・ 役員研修
- ・ 職員研修
- ・ 委員会（総務運営・事業推進等）
- ・ 苦情解決委員会
- ・ 福祉委員会議
- ・ その他委員会
- ・ 共同募金会事業への協力

.....

これからも美郷町全体の地域福祉の向上に努め、一人の不幸も見逃さない体制づくりに向けて事業を進めてまいります。

【地域福祉トータルケア推進事業】

- ・ トータルケアフォローアップ事業
- ・ 災害ボランティア事業

六郷高校 福祉科通信

暦の上では春になりましたが、今年のこの大雪には本当に参ってしまいました。学校の敷地内の雪も軒下近くになつていきます。登下校は体の芯まで寒さがこたえます。

一月三十日、福祉科三年生は「介護福祉士国家試験」を受験しました。日々の学習はもちろん、土曜日や夏休み冬休みの補習にも参加しこの日に臨みました。全員が合格を手にして、介護福祉士として働くことを願っています。

間もなく卒業式です。福祉科六期生のほとんどが福祉に関わる仕事に従事する予定です。お世話になったたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずに、福祉の仕事に携わっていききたいと思ひます。ありがとうございました。



除雪ボランティア

◇1月28日(金) 一年生全員が「除雪ボランティア」を行いました。今年は、これまでの降雪量をはるかに上回る大雪。当日は、天候も心配されましたが、風邪を引いている生徒を除いて、ほとんどの生徒が元気よく

参加しました。

作業をする中で、地域のボランティアの方々から効率のよい除雪の仕方や注意することなど、雪に対する知恵を色々教えていただきました。

寒くて大変でしたが、喜んでくれる笑顔を見ると頑張ることが出来ました。「力を合わせる」ことの大切さを実感したボランティアでした。



この一年を振り返って



宣誓式



入浴実習



手話実習



新1年生へのガイダンス



国家試験事例学習



1年生の実習開始



秋田県知事表彰受賞

福祉科で学んで

〜福祉科三年生〜

◆どんな時も相手を思いやる優しい気持ちでお世話すること何事も継続することの大切さを学びました。それが、国家試験で活かされ、自信を持つて臨むことが出来ました。私は地元で就職します。これまで地域の方々から教えていただいたことを忘れずに恩返しをしていきたいと思ひます。

◆二年間福祉を専門的に学び、春から介護福祉士として働くことになりました。難しい科目や実習では大変なこともありましたが、一つひとつの積み重ねが確かなものとなり、自分の将来を決めることが出来ました。訪問介護員二級の実習で、利用者さんから教わった卵焼きは、私の得意料理となりました。ありがとうございました。

◆私は挨拶の大切さを実感しました。施設実習では、利用者さんのコミュニケーションは挨拶から始まります。四月から、介護福祉士として働きますが、明るく笑顔で挨拶をしたいと思ひます。これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずにどんな時も前向きに頑張っていきたいと思います。

◆福祉科の学習を通してたくさんの人との出会いがありました。そして、たくさんの方々のことを学びました。その中で、コミュニケーションの大切さを実感しました。おかげさまでこの地域で介護福祉士として働くことが出来ます。よろしくお願ひします。

◆人前で話すことが苦手でしたが、今では自信を持って話すことが出来ます。授業や施設実習の中で「コミュニケーションの大切さを学び、様々な体験活動とおして自分を成長させることが出来ました。これまで学んだことを生かして頑張っていきたいと思ひます。

知って
得する!?

福祉の知識

その5 介護保険制度のしくみ

介護保険制度とは、介護にかかわる費用を本人だけが負担するのではなく、みんな(社会全体)で支える仕組みのことです。平成12年4月1日から施行されました。必要になったときに保険が適用され、費用の負担が少して済むという点では健康保険と似ています。違う点は、保険を適用できるかどうかをすぐに判断できないということです。

例えば、風邪を引いたとき健康保険証を持って病院へ行けばすぐに保険を利用した医療が受けられますが、介護保険の場合はいきなり介護施設等に行っても保険を利用したサービスは受けられません。前もって「この人はこれだけの介護を必要とする状態ですよ」と公的に認められている必要があります。これを要介護認定と言います。

もう一つ大きく違う点は「1か月に利用できる金額は〇円までですよ」という限度額が設定されていることです。(限度額は要介護度によって違います)

その限度額の範囲内で介護サービス(1割負担)を受けることができます。

実際に介護保険制度を利用している方の家族にも、介護の問題に直面するまで基本的な制度の内容を知らなかったという方も多いのではないのでしょうか。

介護の問題はどこの家庭にも起こる可能性があります。「介護保険なんて自分にはまだ関係ない」と思っている方も、いざ必要となったときに慌てることのないようにしたいものです。

善意

※受付順

(平成22年12月1日)
平成23年1月31日受付分)

■一般寄付

よねや株式会社 様
コスモスの会 様
土崎北部 熊谷三治郎 様
子丑会 代表 高橋久男 様

■物品寄付

匿名 様(郵便ハガキ200枚)
馬町 鈴木貴智子 様(消毒液)

■香典返し

仲ノ町 田口 絹代 様

下村 斎藤 征治 様
本堂東部 藤嶋 忍 様
旭町 荒田 耕司 様
上畑屋 高橋 文広 様
一丈木 草薨 四郎 様

※このほか、匿名でのご寄付もいただいております。

以上の方々より当協議会に善意の金品をいただきました。ご厚意に対し、心からお礼申し上げます。
ご寄付をいただいた場合、必要な方へはがき(忌明け・快気祝い等)を無料で作成し、お届けいたします。

編集後記

今年(平成18年)以来の豪雪に悩まされました。車の窓から見える光景はどこへ行っても屋根の雪おろしと雪かきという日も…。毎年見慣れているはずの光景ですが、いつもの年と「何か」が違っています。一目瞭然です。
一斉除排雪活動には5回参加しましたが、この訪問先からも「雪

あどいらねえな」と、ため息混じりの声が聞かれました。それに反して学校の子どもたちは楽しそうにワイワイと除雪作業をしていたのが印象的でした。
よく耳にする「雪が降って喜ぶのは子どもとスキー場だけ」という言葉に今さらながら納得です。県内でも雪の事故が多発しており、除雪作業の際は十分に注意して事故のないようにと願うばかりです。
(H・D)

みさと福祉センター

〒019-1541
秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙6番地1



社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会

TEL0187(85)2294(代) FAX0187(85)2291
senfuku@obako.or.jp

美郷町介護事業所

TEL0187(87)6128(代) FAX0187(87)6680
misato-kaigo@atlas.plala.or.jp